

スプレー缶等の取り扱いについて

【背景】

使用済みスプレー缶・カセットボンベをごみとして出す場合は、収集時やその後の処理過程における事故の発生を防ぐため、使い切ったうえで穴を開けてから出すように市民にお願いしている自治体が全国的に多い状況です。しかし、スプレー缶の穴開けの際の事故が全国的に発生したことから、環境省ではスプレー缶を廃棄する際には、穴開けをしないことが望ましい旨、周知されており、名古屋市、豊田市など、すでに穴開けをしないで回収している自治体もあります。

瑞浪市議会では、平成27年12月の一般質問で、大島議員が、スプレー缶・カセットボンベの危険性、回収方法について質問をされております。過去10年間で、スプレー缶に起因する事故は、ガスが残ったまま廃棄され、回収中のごみ収集車内で破裂、引火した火災が2件、スプレー式の殺虫剤を使用し、引火した火災が1件の計3件であったことを小倉消防長が答弁しております。

また、回収方法については、住民の安全を確保する方向で、具体的な検討をこれからしていくと当時の経済部長が答弁しております。

—参考— 平成27年6月25日付け環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課
「適正処理困難な廃棄物の処理体制の整備について」 ※P5参照

【現状】

本市では、必ず中身を使い切り、穴を開けて不燃ごみとして出すこととしております。

しかし、中身が入った物も混ざり、過去に回収中のごみ収集車内で破裂、引火した事故が小さなものを含めると数件発生しています。



燃えたスプレー缶

収集車火災の状況
平成22年11月発生



【他市の状況】

県内の主な市町村では、土岐市以外において本市と同様に穴を開けて不燃ごみとして出すこととしています。他市へのヒアリングの結果、今後についても方針を変える予定はないとのことです。

土岐市は、住民の穴あけによる事故を受け、穴あけ不要としています。収集・運搬については、特に従前と変えることなく、住民が他の不燃物と同じ袋に入れて各置き場に出し、パッカー車で運搬していますが、スプレー缶を起因とした車両火災が発生しているとのことです。

	岐阜市	多治見市	土岐市	恵那市	中津川市	豊田市
穴開け	必要	必要	不要 (中身は使い切る)	必要	必要	不要 (中身は使い切る)
住民の捨て方			他の不燃ごみと一緒に袋に入れて出す			資源ステーションの専用箱に出す
運搬			パッカー車			平積トラック
処分			他の不燃ごみと選別後に業者へ排出(穴、中身そのまま)			専用機械で穴あけ、中身を出した後、業者へ排出

【瑞浪市スプレー缶等回収方針】

- ・ 収集場所は限られますが穴開け不要に対応する。
- ・ 設備投資は最低限とし、現状の車両で対応する。
- ・ 職員を増やさず、現状の人員で対応する。



使用する既存の収集車
(平積2 tトラック)